

学校歯科治療調査の結果について

須磨区 かとう歯科クリニック 加藤 擁一（歯科医師）

私たちは今年 3 月に兵庫県下の小中高校・特別支援学校全校にアンケートを行い、学校歯科検診のその後の受診傾向を調べてみました。その結果、検診で「要受診」と診断された子どもの 65%が、きちんと治療を受けていない可能性が高いことが判明しました。また、虫歯が 10 本以上あるなど「口腔崩壊」と言われる子どものいる学校も、全体の 3 割に達しています。

近年、衛生状態の改善で、子どもの虫歯は劇的に減少してきています。にもかかわらず、この 2 極化現象はなぜ起っているのでしょうか？子供たちの家庭状況を調べる中で、「ひとり親」「経済的困難」「無理解」など、その背景に現代的貧困をうかがわせるキーワードが浮かび上がってきました。

18 歳未満の子どもの 7 人に 1 人が「相対的貧困」にあるといわれるわが国で、今後子どもの歯と健康を守るために何が必要なのかを探ってみました。